昨今の〝環境問題〟や 材などの開発・製造・ 販売を行う積水フーラ 接着剤やシーリング (東京都港区)は、 開や今後の展望を語っ に、これまでの事業展 パーギャンディー氏 てもらった。

評が高い。同社代表取 締役社長のスコット・ 可能な製品ラインアッ ノと斬新な提案力に定 、物流問題、にも対応 された当社が特にフォ ョイントベンチャーと して2005年に設立 積水化学工業と米国 B. フーラーのジ



積水フーラ 代表取締役社長

のは、市場の中で重要

なポジションを維持す

そが当社のイノベーシ る上で、この2部門と

さまざまな問題解決に 取り組みました。 とシーリング材です。 の規模となるのが「R 特に接着剤事業を通 じ、お客さまが抱える 機能性に優れた接着剤 社員数の構成で最大 カスしているのは、 貢献が可能です。事実、 を含めた全体最適への ため、ベストプラクテ ると考えるためです。 ィスや情報をシェアし B. フーラーにもある 合うことで、お客さま ョンを最大に発揮でき R&D部門はH: になるのです。 に合わせた活用が可能 それぞれのマーケット らに研究することで、 功事例を持ち寄り、さ よび世界各地で開発さ れた製品の先進的な成 す。そのため、日本お このような製品の先 が、当社の大きなアド るわけです。 バンテージと言えるで コラボレートできる点 する可能性も大いにあ 進化したものへと発展 しょう。(以下、次号) とのように、世界と

開発に多くの人員

&D (研究開発) 部門」 と「テクニカルサービ 門に多くの人員を割く ス部門」です。この2部 世界の情報を新製品開発にも活用 れました。 成功事例の共有で、各 市場の独自性に適用可 能なヒントも見つけら は、日本における当社 各地から収集できる点 進的な成功事例を世界 エンジニアリングの経 は、幅広い経営管理と パーギャンディー氏

るニーズが異なりま ーケットから求められ インドと日本では、マ 例えば、ブラジルと ます。その強みを生か せば、日本で特殊な技 術を開発した場合、そ れが世界各地でさらに の大きな強みだと思い ションおよび旧モービ てヘンケルコーポレー 専門的リーダー。かつ ジョンの成果を上げた 験を持ち、また高いビ

のディレクターとし およびマーケティング

23年7月から現職。

プと管理を担当した。 オリオのリーダーシッ グ接着剤製品ポートフ

バル製品マネジメント から20年まではグロー 15年から勤務し、16年

H.B.フーラーには ョンにも就いていた。 ル)で重要なポジシ

> が (同・約2170億 職務に就任し、約4億

験。

20年

円)の規模を誇るグロ

バルエンジニアリン



ル (現在 2億5千 理を経 展開で管 で約85 億5千万 し、約5 を発揮 ーシップ 模の事業 のレート 万円)規 てリーダ

抱負を語る

と売上金額の両方で す。これらは実際に ボリュームがありま めており、販売数量 が大部分の売上を占 は、「衛生材料」と 包装・紙加工製品 当社の事業領域で

(3月3日号1面の 領域で、そのほかの 能性材料」がありま 注力領域としては 「住宅・建材」と「機

の中でも「包装・紙 スタートする以前か 加工製品」は、積水 ノーラーが20年前に これらの事業領域

ら手掛けていたもの

である同社との協

業は、当社が国

内ビジネスを進

刀を入れている事業

積水フーラー 代表取締役社長

める上で大変に 有益であり、ま

土力製品のホッ

合せた後に接着する 着剤を塗布して貼り

います。さらに、低

くありました。 に学ぶことも多

当社にとって

きたと言っても過言 のグローバルリーダ ではありません。包 域のビジネスは、 装・紙加工製品分野 強い協力で進行して H.B.フーラーの 国内における同領 hesives) ります。英語(Ho 再び固化状態とな t Melt Ad り、接着が可能とな 後冷却されることで となりますが、その 加熱すると溶融状態 トメルト接着剤は、 方、合成ゴム系

ードを最大限に高 かし、包装機のスピ というホットメルト である速硬化性を生 までの時間)が1秒 接着剤の最大の特長

包装・紙加工製品

め、生産性の向上に 貢献しています。

の用途に対応してお 包装容器に至るま 容器といった最新の 料用のキャップ付き な包装容器から、飲 や紙袋などの で、幅広い包装形態 一般的

当社では用途に応

高い対応力のホットメルト接着剤 環境意識の製品開発も加速

の場合、セットタイ ム(ホットメルト接 ホットメルト接着剤 あります。 と表記される場合も 頭文字を取りHMA 段ボール包装用の されます。 剤は紙やプラスチッ のホットメルト粘着 素材との接着に使用 ムなどのさまざまな ク、不織布、フィル

ットメルト接着剤 当社の包装用のホ では、環境対応とサ ホットメルト接着剤 じたオレフィン系の る取り組みも進めて ステナビリティ(持 近年の製品開発の中 を数多くラインアッ 統可能性)を意識す しておりますが、

うなさまざま おります。 を2種類ライ 温から高温ま ンアップして ル向けの製品 テープやラベ 特性を有する で幅広い粘着 とれらのよ

環境に配慮した低温 きました。その成果 クの認証も取得して 塗工タイプに設計 の製品については、 同シリーズの包装用 が、3年前に発売し ルト」シリーズです。 た「SFグリーンメ し、バイオマスマー とっても非常に重要 くととは、 認識しております。 優れた製品をどのよ であり、常に努力し 客さまに対しより良 うに提供していくか い製品を提供してい が、最大の課題だと て、市場やお り組みを通じ な製品への取 私たちに

抱負を語る

づき 親会社の積水化学工業 品を提供する姿勢は、 (3月10日号6面のつ も共通したものであ 常に努力し優れた製 ます。 題の解決に向けた積極 的な貢献を目指してい り、それぞれが社会課

とH.B.フーラーに

その社会課題とは、 積水フーラ 代表取締役社長

接着剤の技術で解決

当社が何を提供できる

でも確実に変革を積み

次の20年に向けても同

イバー不足の問題だけ については、単にドラ げられます。物流課題 刻化する物流問題が挙 やドライバー不足が深 最近であれば環境問題 から積水フーラーの代 表取締役社長を務めても同様です。言い換え す。(次号以降に関連 したいと考えておりま 私は2023年7月 は、多くの国や地域で 術を受け入れる姿勢 必要があるからです。 かを、常に重要視する お客さまが新しい技 オープンマインドで受 す。そんな彼らの声を まな新しい要望やご提 案をお寄せくださいま が柔軟なので、さまざ 特に若い世代は発想

『本の顧客は常に真剣

少しずつでも着実な変革が成功の鍵に

物流工程で発生するご み問題などのさまざま ではなく、物流効率や かっています。その課 な課題があることが分 題を当社のホットメル りません。お客さまの して簡単な市場ではあ おりますが、日本は決 まれていることから、 多くは環境問題とコス ト削減に真剣に取り組 お客さまからのニーズ るならば、そのような を受けて、製造者側が 速しているように感じ 変化せざるを得ないと いう状況が、近年は加 す。 もつながると考えま なビジネスチャンスに け入れ対応すること が、当社にとって新た 継続的に、少しずつ



当社は、設立から20年 けてきました。これは ます。そのスタンスで 成功につながると思い 重ねる、これが結局は 間、日本での展開を続 トメルト接着剤の市場 拡大にも貢献したいで 年1月号から転載 誌「月刊食品包装」25 すね。(おわり)(姉妹 拡大だけでなく、ホッ み上げていく努力 が重要でしょう。 なくコツコツと積 します。それによ ーションに向け 品や新たなソリュ って、当社の事業 の研究開発を継続 つ、一足飛びでは 今後も新しい製

未来を見据えつ